

関西ペイントの 戸建塗り替え工法

安心と信頼の塗り替え工法を提案いたします



人と暮らし、未来を結ぶ。

つながる、人と暮らしを。つながる、人と未来を。
スローガンとなる「つながるペイント」に込められた想い。
それは、塗装で家族のコミュニケーションが増えたり
塗装で暮らしに新しい価値を生み出すこと。
すこし大げさかもしれませんが、
関西ペイントは本気です。
こころざしを同じにする塗り替え施工者様と
「リフォームサミット」を通じて連携し、
新しいサービスをご提案いたします。
もっともっと、人のキモチがにつながるペイントをめざして。

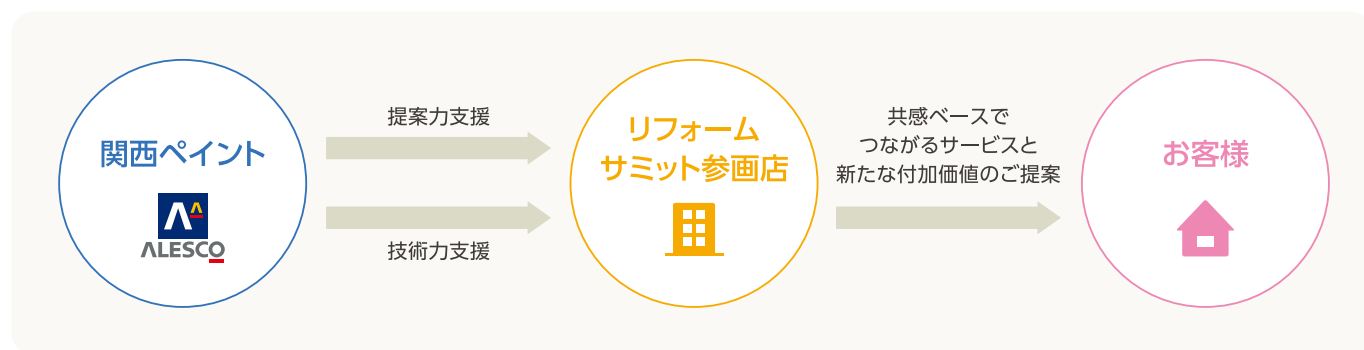


リフォームサミット

塗り替え施工者様の技術力と提案力向上を支援する組織「リフォームサミット」を発足しました。リフォームサミット参画店は、お客様と共感ベースでつながる様々なサービスをご提供いたします。

人と暮らし、未来をつなげるリフォームサミットにご期待ください。

リフォームサミット参画店は、関西ペイントの高品質塗料を使用した塗装において安心安全な施工を提案いたします。



マイホーム健康度 チェック表

マイホームは新築後5年目がチェックポイント。
知らない間に意外な所の傷みが進行しているものです。
外観の美しさを保つことはもとより、建物の防水効果を維持し、
腐食や劣化などの対策を講じる予防が何よりも大切です。
この機会に、ご家族でチェックしてみてください。



外 壁

- ☐ 塗料がはがれている。
- ☐ 色があせている。
- ☐ 壁にひび割れがある。
- ☐ カビまたは苔が発生している。
- ☐ 部位によって色が違う。
- ☐ 雨漏りしている。
- ☐ サビが発生している。
- ☐ 8年以上塗り替えていない。
- ☐ 目地などのシーリング材が切れている。
- ☐ サイディングボードが反っている。
- ☐ 壁が欠けている。
- ☐ 壁が浮いている。
- ☐ 手で触ると白い粉がつく。
- ☐ 雨筋など汚れが目立つ。

合 計

点

軒 天

- ☐ 塗料がはがれている。
- ☐ 色があせている。
- ☐ 雨漏りの跡がある。
- ☐ 汚れが目立つ。
- ☐ 部位によって色が違う。
- ☐ 8年以上塗り替えていない。

合 計

点

木 部

- ☐ 塗料がはがれている。
- ☐ 色があせている。
- ☐ カビまたは苔が発生している。
- ☐ 木の素地が見えている。
- ☐ 木が腐りかけている。
- ☐ 3年以上塗り替えていない。

合 計

点

鉄 部

- ☐ 塗料がはがれている。
- ☐ 色があせている。
- ☐ さび止め塗料が見えている。
- ☐ 鉄の素地が見えている。
- ☐ サビが発生している。
- ☐ 3年以上塗り替えていない。

合 計

点

屋 根

- ☐ 塗料がはがれている。
- ☐ 色があせている。
- ☐ 瓦が割れている。
- ☐ カビまたは苔が発生している。
- ☐ 部位によって色が違う。
- ☐ 雨漏りしている。
- ☐ サビが発生している。
- ☐ 8年以上塗り替えていない。

合 計

点

いかがでしたか？
点数を合計して診断してみましょう。

0 ～ 5 点

現在、大きな問題はありません。
この状態を維持するために将来の
補修計画を早めに考えておきましょう。

6 ～ 15 点

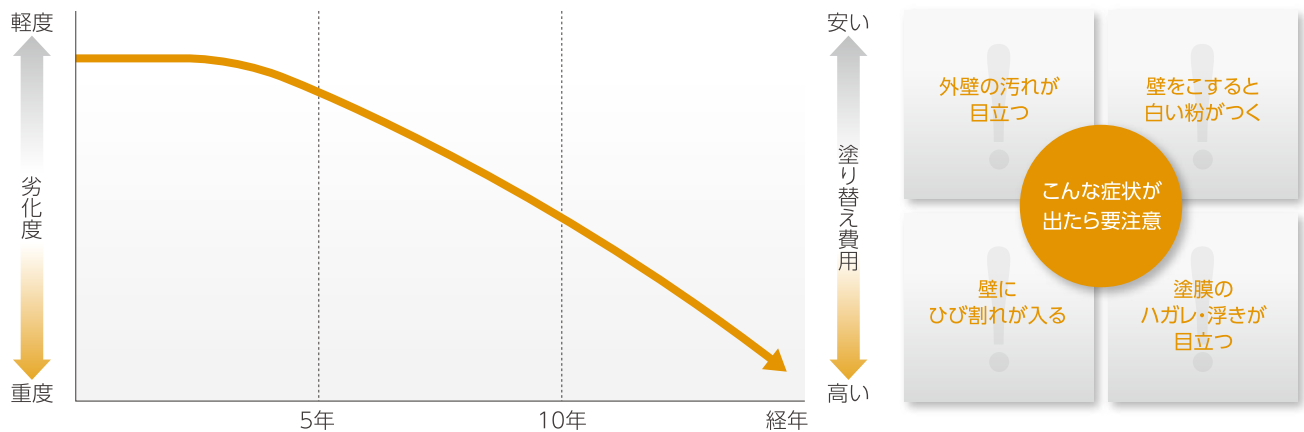
傷みが見られます。1～2年以内に
塗装計画を立てることを
おすすめします。

16 点 ～

傷みがかなり進んでいるため、
早急にリフォームが必要と思われます。
お気軽にご相談ください。

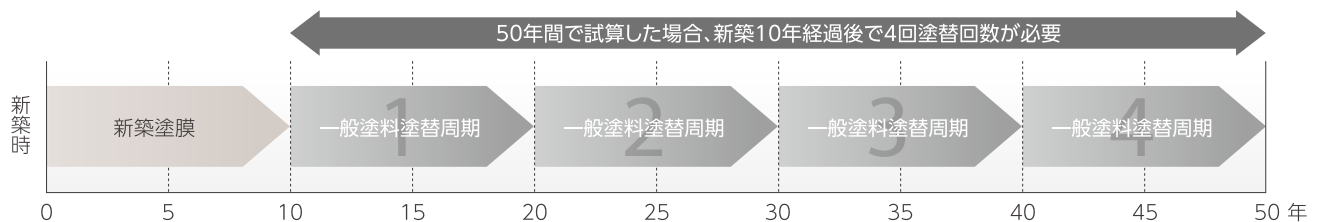
関西ペイント リフォームサミット参画店へ

外壁の劣化進行と塗り替え費用

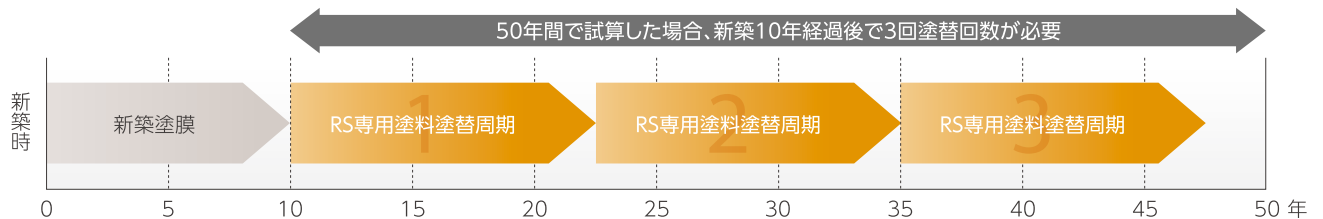


塗替周期

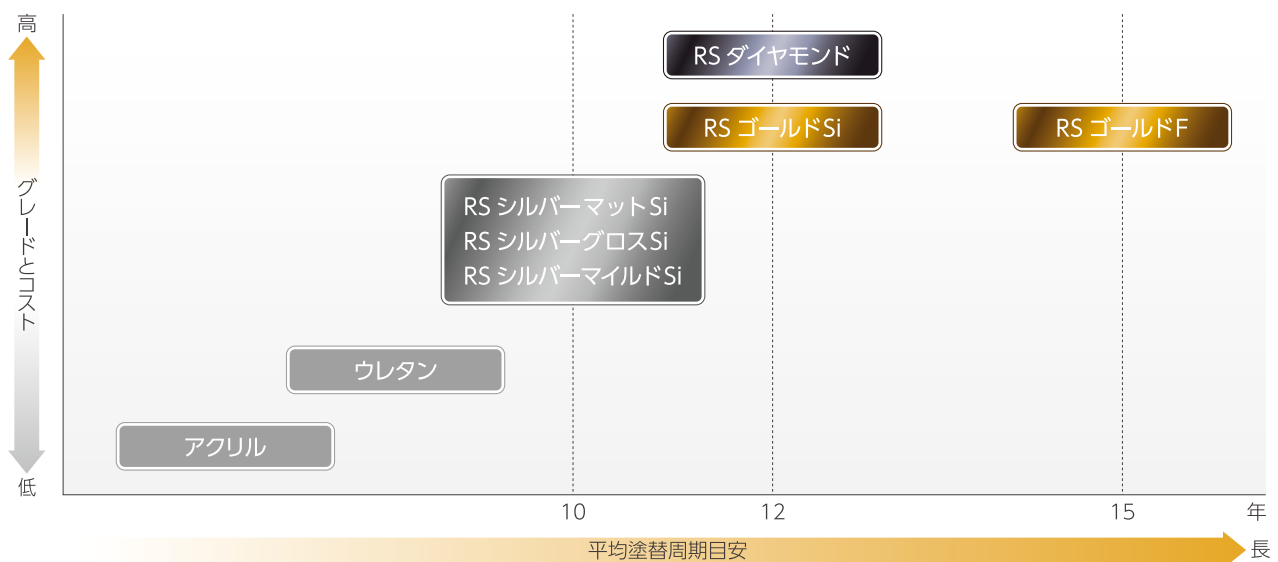
■ 一般塗料塗替周期 (アクリル塗料・ウレタン塗料)



■ RS専用塗料塗替周期 (シリコン塗料・フッソ塗料)



上塗塗料性能表 (塗替周期目安)



工事の流れ

外装塗装の施工手順



塗替日数目安10日前後

作業手順	作業内容	所要日数
準備	施工および作業を行うための足場作りと、周辺への塗料飛散防止ネットを設置します。	1日
外壁の不良箇所の補修処理	外壁の不具合箇所を適切な工具を用いてケレン除去した後に、シーリング処理またはエポキシ樹脂注入を行います。 また、段差などは樹脂入りモルタルで修正し、模様を元どおりに戻します。	1日
外壁の水洗い	高圧水洗機を用いて、長年にわたり蓄積されたホコリなどの汚れを洗い流し、清浄な面にします。	1日
水洗い後の乾燥と養生	次の塗装工程に移る前に、外壁を十分乾燥させるため、養生期間をとります。その間に、ビニールシートなどで窓ガラスを養生します。	1日～2日
塗装作業	外壁は、下塗～中塗～上塗の順で、鉄部は、さび止め塗り～中塗～上塗の順で作業を進めます。	3日～4日
塗装作業終了前点検	塗り残しや、塗りムラがないかチェックしながら手直し、およびビニールシートをはずします。	0.5日
塗装作業終了	足場と周辺への塗料の飛散防止ネットを撤去し、周辺を清掃する。	1日

※現場の状況によって、作業内容等が変更されることもあります。あくまでも参考項目です。

その他付帯工事参考塗装仕様

塗装部位	下 塗	上 塗	工程数
天井(ボード)	—	アレス水性ワイドグリップ(水性エマルジョン塗料)	2工程
フェンス(鉄・アルミ)	スーパーザウルスⅡ(弱溶剤系エポキシ塗料)	セラMシリコンⅢ(弱溶剤系シリコン塗料)	3工程
一般鉄部		セラMフッソ(弱溶剤系フッソ塗料)	3工程
面格子(鉄・アルミ)		セラMレタン(弱溶剤系ウレタン塗料)	3工程
シャッター	メタルグリップEX(速乾形エポキシ塗料)	レタンPG80(速乾形ウレタン塗料)	3工程
樋(硬質塩ビ)	—	セラMシリコンⅢ(弱溶剤系シリコン塗料)	2工程
	—	セラMレタン(弱溶剤系ウレタン塗料)	2工程
破風板(木部)	—	セラMレタン弾性(弱溶剤系ウレタン塗料)	2工程

※上記以外、各部位への塗装仕様もご提案可能です。

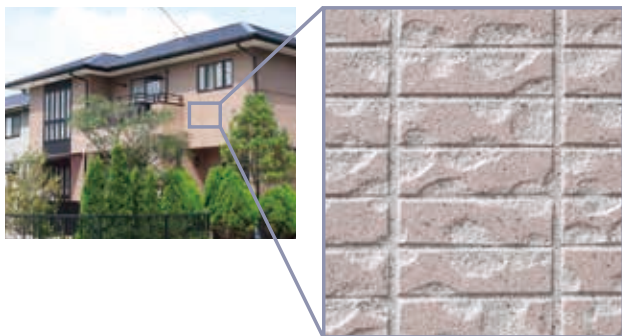
RS ダイヤモンド

機能性・意匠性に特長を持たせた表現豊かな工法。

特 長

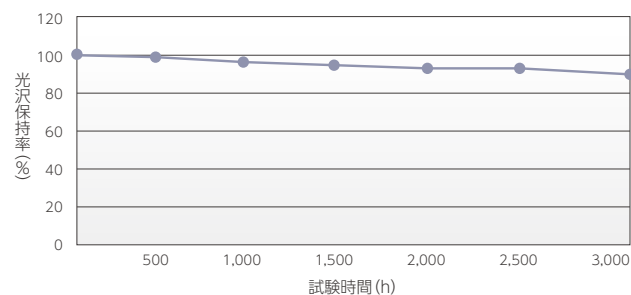
1 抜群の意匠性

RSダイヤモンドの持つ独特の多彩模様が今までにない上品で高級感あふれる外観を演出します。



2 高耐候性

高耐候性シリコン樹脂を使用しているため建物の美観を長年維持します。



※JIS-A-6909耐候性1種(キセノンランプ法2,500時間、光沢保持率80%以上)合格レベルの性能を有しています。耐候性1種は、一般的に10～15年の耐久性に相当します。

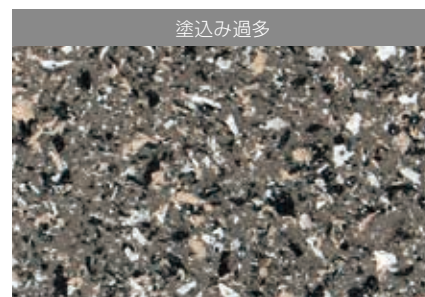
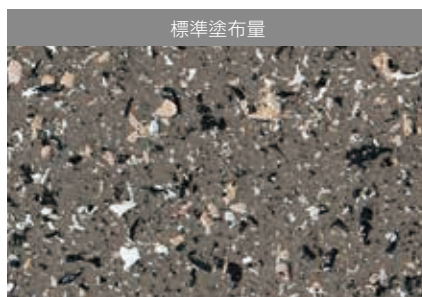
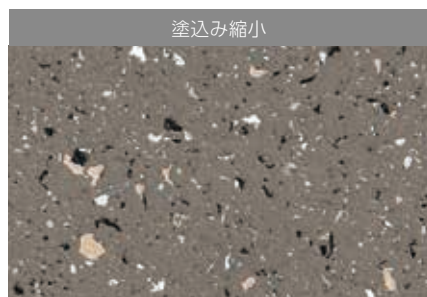
3 防カビ性

防カビ性に優れ、菌糸の生育は認められないレベルに達しています。

4 水性・環境に優しい無鉛

環境に配慮し、有害な揮発性有機溶剤や重金属は使用しておりません。

■ 塗布量による見え方の違い(AZE-252)



※本製品の特性として塗込み量の増減により色味が変動します。

■ 塗料性状

	上 塗	中 塗
荷 姿	15kg, 3.5kg	15kg, 4kg
混合比	—	—
色	多 彩	白及び各色
つ や	半つや	5分つや
仕上り感	平 滑	平 滑
塗料比重	1.07(AZE-301)	1.24(白)
溶剤比重	1.00(上水)	1.00(上水)
加熱残分	35%	52%(白)
劇物表示(品名・含有量)	—	—
労安法上の表示有害物	—	—
使用有機溶剤種別	—	—
消防法による危険物区分	非危険物	非危険物
硬化剤の成分による区分	—	—

※上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

■ 塗装条件

	上 塗		中 塗		
塗装方法	万能ガン	スポンジローラー	ハケ	ローラー	スプレー
希釈率	—	0～5%	3～12%	3～12%	3～12%
標準所要量(kg/m ² /回)	0.30～0.40	0.06～0.10	0.13～0.15	0.13～0.15	0.13～0.2
希釈剤	—	—	上 水		

※標準所要量は、個々の条件によって異なります。 ※標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。
※スポンジローラーは、窯業系サイディングボード限定です。

■ 塗装間隔

		上 塗	中 塗
項 目	温 度	23℃	23℃
	最 短	16時間	2時間
	最 長	7日	7日
使用期限		—	—

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

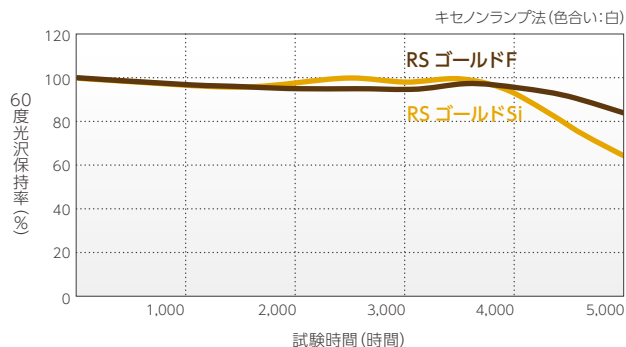
RS ゴールドF RS ゴールドSi

色・光沢の持続性と低汚染性に最もこだわった高グレード工法。

特 長

1 抜群の耐候性

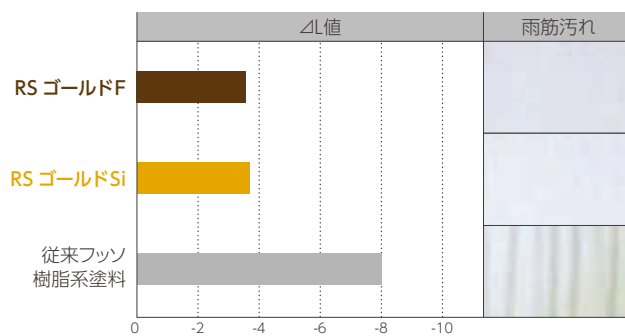
JIS A 6909 耐候形1種合格レベルです。



※JIS-A-6909耐候形1種(キセノンランプ法2,500時間、光沢保持率80%以上)合格レベルの性能を有しています。耐候形1種は、一般的に10～15年の耐久性に相当します。

2 超低汚染性(セラミック成分の複合)

白塗料における屋外バクロ6ヵ月のΔL値と塗膜状態



※ΔL値:初期と試験後の白さ比較値。数値が少ないほど、汚れが少ない。

3 防カビ性

防カビ性に優れています。

4 水性・環境に優しい無鉛

環境に配慮し、有害な揮発性有機溶剤や重金属は使用しておりません。

■ 塗料性状

	RS ゴールドF 上塗	RS ゴールドF 中塗	RS ゴールドSi
荷 姿	15kgセット(ベース/硬化剤=14kg/1kg) 3.75kgセット(ベース/硬化剤=3.5kg/0.25kg)	15kg	15kgセット(ベース/硬化剤=14kg/1kg) 3.75kgセット(ベース/硬化剤=3.5kg/0.25kg)
混合比	ベース/硬化剤=14/1	—	ベース/硬化剤=14/1
色	白および各色	白および各色	白および各色
つ や	つや有り、7分つや、5分つや、3分つや	つや有り	つや有り、7分つや、5分つや、3分つや
仕上り感	平 滑	平 滑	平 滑
塗料比重	1.21(白)	1.25(白)	1.20(白)
溶剤比重	0.99(白)	1.00(上水)	0.99(白)
加熱残分	56%(白)	59%(白)	56%(白)
劇物表示(品名・含有量)	—	—	—
労安法上の表示有害物	—	—	—
有機則/特化則	ベース:— 硬化剤:—	—	ベース:— 硬化剤:—
消防法による危険物区分	ベース:非危険物 硬化剤:第4類 第2石油類(非水溶性)	非危険物	ベース:非危険物 硬化剤:第4類 第2石油類(非水溶性)
硬化剤の成分による区分	—	—	—

※上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

■ 塗装条件

	RS ゴールドF 上塗			RS ゴールドF 中塗			RS ゴールドSi		
塗装方法	ハ ケ	ローラー	エアレススプレー	ハ ケ	ローラー	エアレススプレー	ハ ケ	ローラー	エアレススプレー
希釈率	5～10%	5～10%	10～20%	3～8%	3～8%	10～20%	5～10%	5～10%	10～20%
標準所要量(kg/m ² /回)	0.13	0.13	0.16	0.15	0.15	0.18	0.13	0.13	0.16
希釈剤	上 水			上 水			上 水		

※標準所要量は、個々の条件によって異なります。 ※標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

■ 塗装間隔

		RS ゴールドF 上塗	RS ゴールドF 中塗	RS ゴールドSi
項 目	温 度	23℃	23℃	23℃
	最 短	4時間	2時間	4時間
	最 長	7日	7日	7日
使用時限		5時間	—	5時間

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

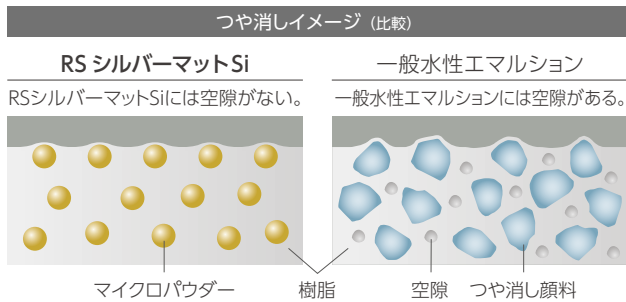
RS シルバーマット Si

シルクのようなしっとりしたつや消しでシックな仕上がり工法。

特 長

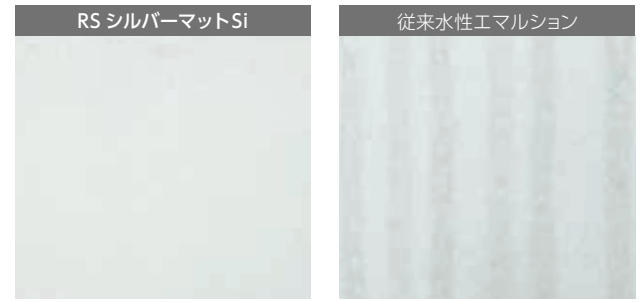
1 やさしい質感

「マイクロパウダー技法」で細粒子化しシルクのようななめらかなつや消しの仕上りを実現。



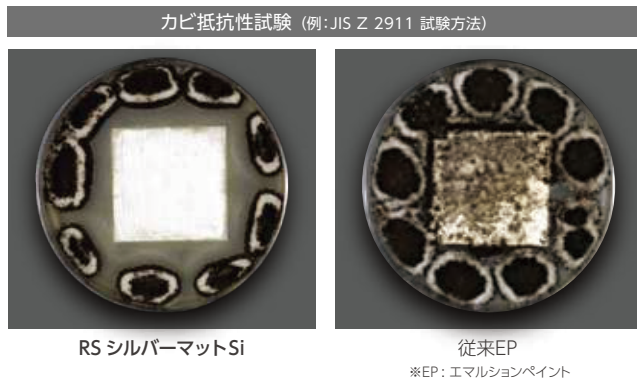
2 低汚染性

「特殊親水性粒子」の効果による低汚染性で雨筋汚れを抑制します。

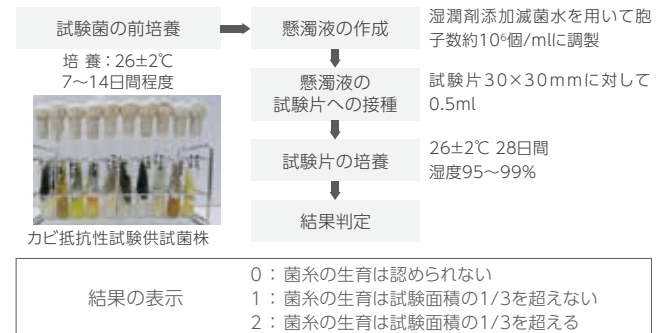


3 防カビ性

防カビ性に優れています。



菌糸の生育は認められないレベルに達しています。



4 高耐候性

高耐候な塗膜が建物の資産価値を守ります。

5 水性・環境に優しい無鉛

環境に配慮し、有害な揮発性有機溶剤や重金属は使用しておりません。

塗料性状

荷 姿	15kg, 4kg
混合比	—
色	白および各色
つ や	つや消し
仕上り感	平 滑
塗料比重	1.45 (白)
溶剤比重	1.00 (上水)
加熱残分	65% (白)
劇物表示 (品名・含有量)	—
労安法上の表示有害物	—
有機則 / 特化則	—
消防法による危険物区分	非危険物
硬化剤の成分による区分	—

※上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

塗装条件

塗装方法	ハ ケ	ローラー
希釈率	0~10%	0~10%
標準所要量 (kg/m ² /回)	0.13~0.23	0.13~0.23
希釈剤	上 水	

※標準所要量は、個々の条件によって異なります。 ※標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

塗装間隔

項 目	温 度	23℃	10℃
		最短	5時間
標準塗装間隔	最 短	2時間	5時間
	最 長	7日	7日
使用時限		—	—

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

RS シルバーグロスSi

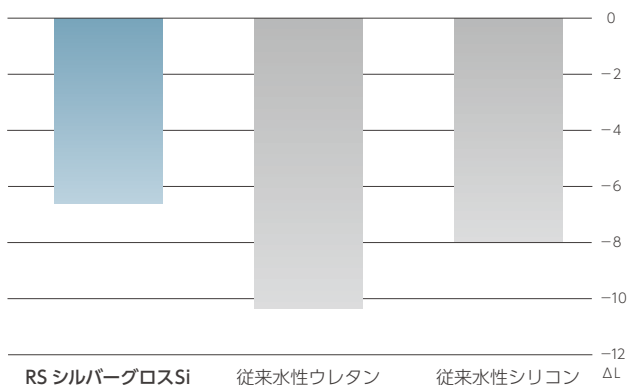
光沢があり高い低汚染性能を付与した高パフォーマンス工法。

特 長

1 低汚染性

優れた低汚染性で美観を長期にわたり維持します。

緻密・強靱塗膜形成技術により、汚れが付着しにくくなります。



4 防カビ性

防カビ性に優れています。

5 水性・環境に優しい無鉛

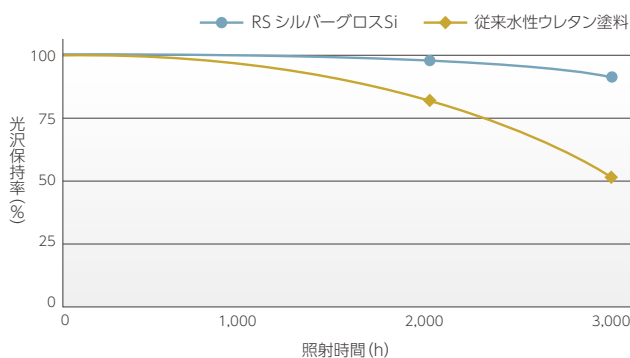
環境に配慮し、有害な揮発性有機溶剤や重金属は使用していません。

2 高耐候性

アクリルシリコン樹脂なので耐候性抜群です。

高耐候な塗膜が建物や鋼構造物の資産価値を守ります。

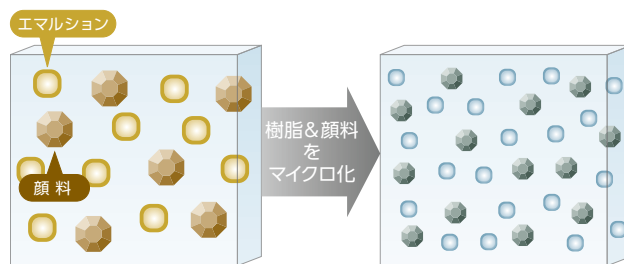
JIS A 6909 耐候形1種合格レベル



※ JIS-A-6909 耐候形1種 (キセノンランプ法 2,500時間、光沢保持率 80%以上) 合格レベルの性能を有しています。耐候形1種は、一般的に10～15年の耐久性に相当します。

3 高光沢

ダブルマイクロ技術により、キメ細かい滑らかな肌を実現します。また、上塗塗料の光沢もUPします。



■ 塗料性状

荷 姿	15kg, 4kg
混合比	—
色	白および各色
つ や	つや有り、7分つや、5分つや、3分つや
仕上り感	平 滑
塗料比重	1.23 (白)
溶剤比重	1.00 (上水)
加熱残分	60% (白)
劇物表示 (品名・含有量)	—
労安法上の表示有害物	—
有機則 / 特化則	—
消防法による危険物区分	非危険物
硬化剤の成分による区分	—

※ 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

■ 塗装条件

塗装方法	ハ ケ	ローラー	エアレススプレー
希釈率	5～10%	5～10%	5～10%
標準所要量 (kg/m ² /回)	0.13	0.13	0.16
希釈剤	上 水		

※ 標準所要量は、個々の条件によって異なります。 ※ 標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

■ 塗装間隔

項 目	温 度	23℃
標準塗装間隔	最 短	2時間
	最 長	7日
使用時限	—	

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

RS シルバーマイルド Si

セラミック変性樹脂により、優れた耐候性と超低汚染性を発揮。

特 長

1 低汚染性

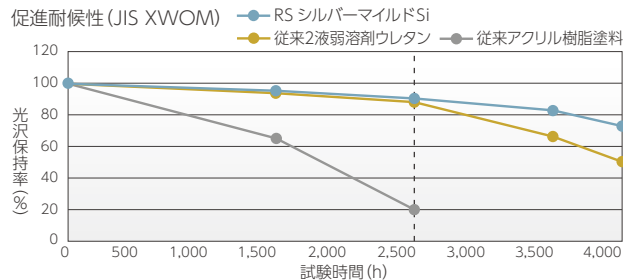
優れた低汚染性で美観を長期にわたり維持します。

屋外パクロ試験結果（一年半パクロ 当社比）



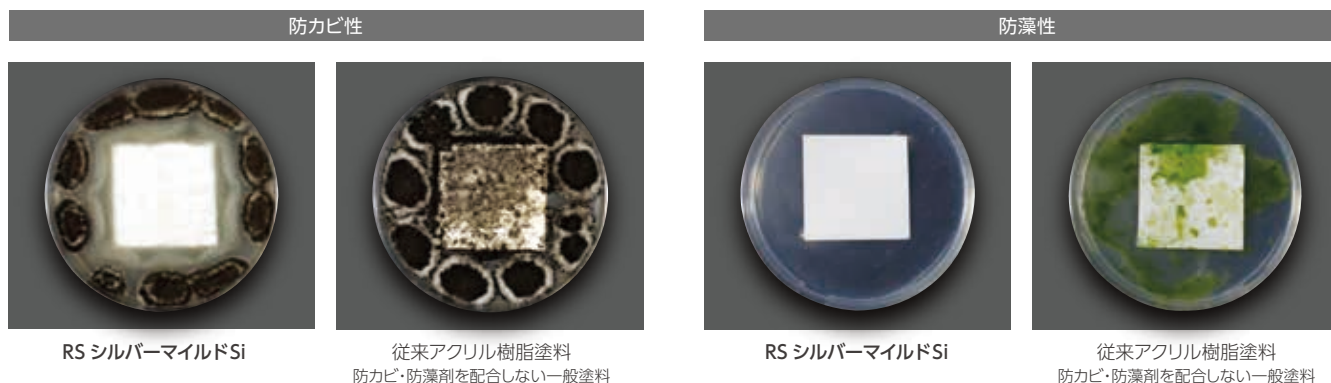
2 高耐候性

塗膜は劣化とともに、つや（光沢）が低下していきます。つやの低下速度がゆるやかな程、塗膜の耐候性が高いことを表します。



3 防カビ・防藻性

防カビ・防藻性に優れています。



■ 塗料性状

	上 塗	中 塗
荷 姿	16kgセット (ベース/硬化剤=13.7kg/2.3kg)	16kgセット (ベース/硬化剤=14.5kg/1.5kg)
混合比	ベース/弾性硬化剤 = 6/1	ベース/弾性硬化剤 = 10/1
色	白および各色	白および各色
つ や	つや有り	つや有り
仕上り感	平 滑	平 滑
塗料比重	1.18 (白)	1.21 (白)
溶剤比重	0.84	0.82
加熱残分	58% (白)	64% (白)
劇物表示 (品名・含有量)	—	—
労安法上の表示有害物	ベース: キシレン, エチルベンゼン 硬化剤: キシレン	ベース: キシレン, エチルベンゼン 硬化剤: キシレン
有機則/特化則	ベース: 第3種有機溶剤等 硬化剤: 第3種有機溶剤等	ベース: 第3種有機溶剤等 硬化剤: 第3種有機溶剤等
消防法による危険物区分	ベース: 第4類 第2石油類 (非水溶性) 硬化剤: 第4類 第2石油類 (非水溶性)	ベース: 第4類 第2石油類 (非水溶性) 硬化剤: 第4類 第2石油類 (非水溶性)
硬化剤の成分による区分	イソシアネート	イソシアネート

※ 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

■ 塗装条件

	上 塗			中 塗			
塗装方法	ハ ケ	ローラー	エアレス	ハ ケ	ローラー	スプレー	エアレス スプレー
希釈率	0～10%	0～10%	5～10%	5～15%	5～15%	10～30%	10～30%
標準所要量 (kg/m ² /回)	0.12	0.12	0.14	0.12	0.12	0.14	0.14
希釈剤	塗料用シンナーA			塗料用シンナーA			

※ 標準所要量は、個々の条件によって異なります。 ※ 標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

■ 塗装間隔

項 目	温 度	上 塗	中 塗	
		23℃	23℃	5～10℃
標準塗装間隔	最 短	4時間	4時間	16時間
	最 長	7日	7日	7日
使用時間		8時間	8時間	8時間

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

RS サーフ

ダブルマイクロ技法により、キメ細かい滑らかな肌を実現。

特 長

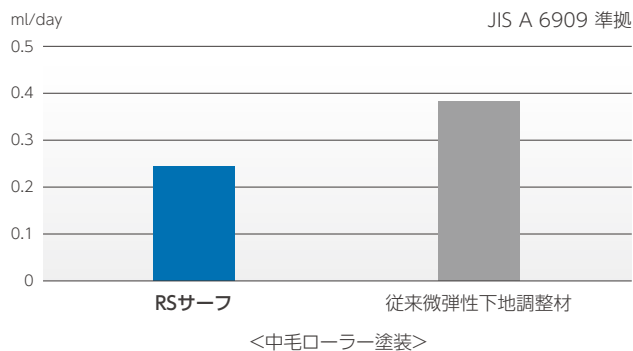
1 優れた隠ぺい性

隠ぺい率試験紙への塗装による比較 (JIS K 5600)



2 防水性

緻密な塗膜を形成することにより防水性能が向上します。



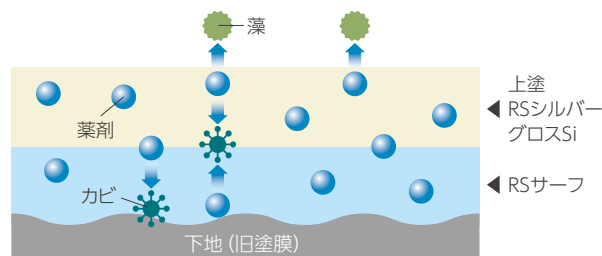
3 優れた付着性

シリコンエマルジョン導入効果により従来の下地材より付着力が優れています。

		付着強度 (N/mm ²)	
		RS サーフ	従来微弾性下地調整材
旧塗膜	アクリルタイル	2.3	1.9
	単層弾性	1.9	1.7

4 防カビ・防藻性

バイオ技術を駆使した薬剤を配合しており、塗膜全体で優れた防カビ・防藻性を持続させます。



塗料性状

荷 姿	16kg
混合比	—
色	白
つ や	無
仕上り感	平 滑
塗料比重	1.35
溶剤比重	1.00 (上水)
加熱残分	65%
劇物表示 (品名・含有量)	—
労安法上の表示有害物	—
有機則 / 特化則	—
消防法による危険物区分	非危険物
硬化剤の成分による区分	—

※上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

塗装条件

塗装方法	ローラー (中毛～中長毛)
希釈率	0～3%
標準所要量 (kg/m ² /回)	0.3～0.5
希釈剤	上 水

※標準所要量は、個々の条件によって異なります。 ※標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

塗装間隔

項 目	温 度		23℃	5～10℃
	最 短	最 長	4時間	8時間
標準塗装間隔			7日	7日
使用時限			—	—

主な適用素材

窯業系サイディングボード・コンクリート・モルタル

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

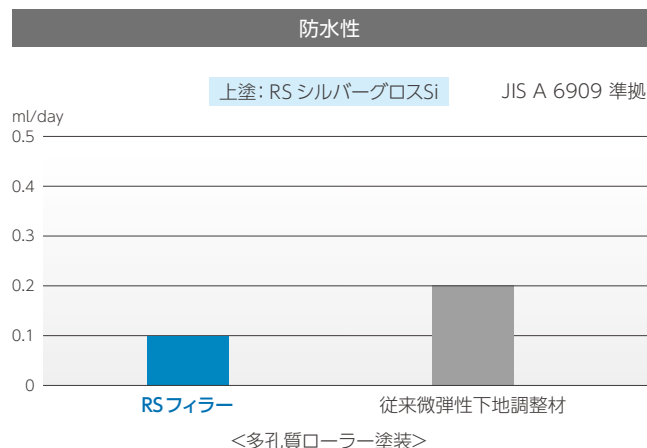
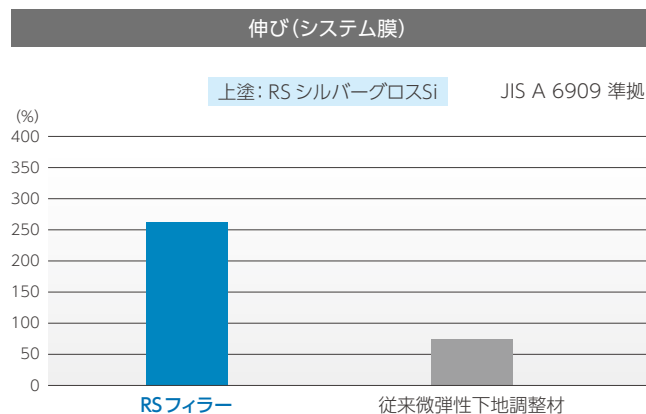
RS フィラー

これまでに培った技術力を結集した長期耐久性「弾性」下地調整材。

特 長

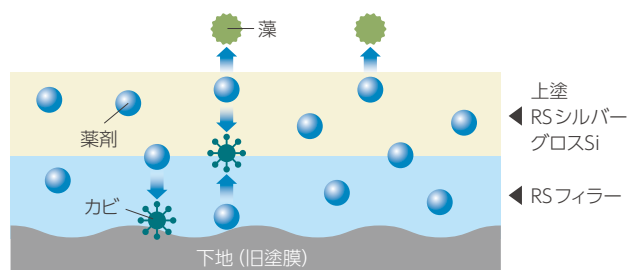
1 「弾性」下地調整材

緻密な塗膜を形成することにより防水性能が向上します。



2 防カビ・防藻性

バイオ技術を駆使した薬剤を配合しており、塗膜全体で優れた防カビ・防藻性を持続させます。



3 優れた付着力

付着性に優れていますので、微弾性フィラー同様、旧塗膜へのシーラーレス塗装が可能です。

4 肌が緻密で高仕上り

微弾性フィラーに比べ、隠ぺい性が良く上塗の吸い込みが少なく、仕上り性に優れています。

塗料性状

荷 姿	16kg
混合比	—
色	白
つ や	つや消し
仕上り感	さざ波状
塗料比重	1.45
溶剤比重	1.00(上水)
加熱残分	69%
劇物表示(品名・含有量)	—
労安法上の表示有害物	—
有機則/特化則	—
消防法による危険物区分	非危険物
硬化剤の成分による区分	—

※上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

塗装条件

塗装方法	多孔質ローラー
希釈率	1~4%
標準所要量(kg/m ² /回)	0.8~1.5
希釈剤	上 水

※標準所要量は、個々の条件によって異なります。 ※標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

塗装間隔

項 目	温 度		23℃
	最 短	最 長	
標準塗装間隔	8時間	7日	
使用時限	—		

主な適用素材

コンクリート・モルタル

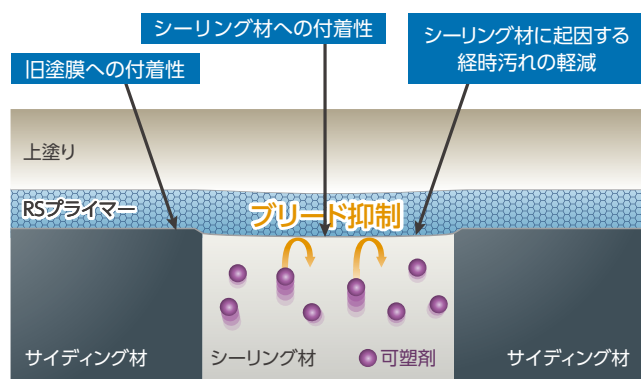
ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

RS プライマー

水性で臭気も少なく、幅広い旧塗膜・基材へオールマイティーに対応。

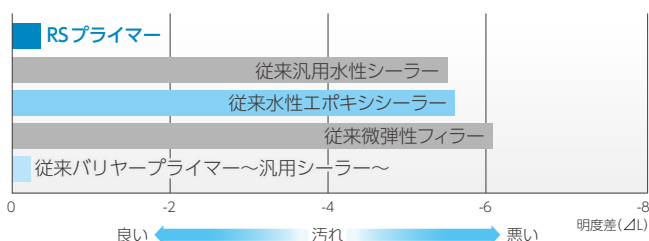
特 長

1 優れたシーリング適性



可塑剤ブリード抑制効果試験結果

屋外パクロ試験(東京パクロ6ヶ月)



※1 塗装仕様: 変成シリコンシーリング材～各種下塗材～弱溶剤形ウレタン樹脂塗料
 ※2 シーリング材メーカーや種類、上塗材の種類によっては、結果が異なる場合があります。

2 優れた旧塗膜適性

リシン、スタッコ、吹付けタイル、アクリル樹脂塗料、ウレタン樹脂塗料、エマルジョン塗料などに適応しています。



3 長期耐久性

各種下地、旧塗膜との耐久性を向上させます。

塗料性状

荷 姿	15kgセット(ベース/硬化剤=12.5kg/2.5kg)
混合比	ベース/硬化剤 = 5/1
色	白
つ や	—
仕上り感	平 滑
塗料比重	1.46
溶剤比重	1.00(上水)
加熱残分	60%
劇物表示(品名・含有量)	—
労安法上の表示有害物	—
有機則/特化則	ベース:— 硬化剤:—
消防法による危険物区分	ベース:非危険物 硬化剤:非危険物
硬化剤の成分による区分	ポリアミン

※上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

塗装条件

塗装方法	ローラー	ハケ	エアレス
希釈率	0～10%	0～10%	10～15%
標準所要量(kg/m ² /回)	0.13～0.20	0.13～0.20	0.17～0.20
希釈剤	上 水		

※標準所要量は、個々の条件によって異なります。 ※標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

塗装間隔

項 目	温 度	23℃
標準塗装間隔	最 短	4時間※
	最 長	7日
使用時限		4時間

※溶剤形塗料を上塗に用いる場合は16時間以上乾燥させてください。

主な適用素材

窯業系サイディングボード・コンクリート・モルタル など

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

RS クール水性Si

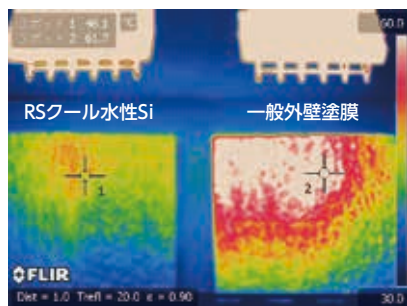
外壁の遮熱性能に最もこだわった夏の暑さ対策工法。

特 長

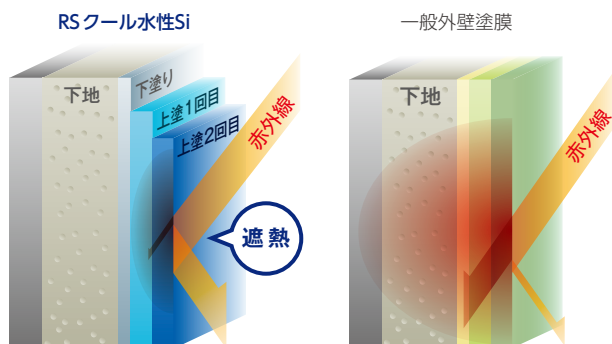
1 赤外線を効率よく反射させる

遮熱効果とは、太陽光線（赤外線）を効率よく反射し、外壁の塗膜表面温度上昇を抑制することです。それにより素材の蓄熱を抑え、熱による素材の劣化を防ぎます。

ハロゲンランプ照射実験例（サーモグラフィ画像）



一般壁用塗料と「RSクール水性Si」の塗板にハロゲンランプを照射して表面温度を確認しました。この実験では、表面温度で約15.6℃の温度低減効果が確認できました。（塗色：AW-016）



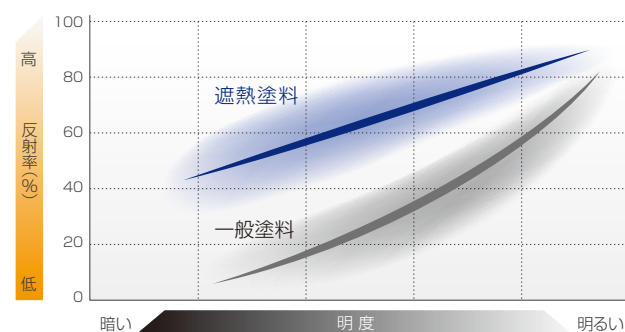
2 低汚染で汚れにくい

緻密かつ強靱な塗膜形成技術で開発された防汚性能が建物の美観を維持します。また、汚れによる遮熱効果の低下を抑制し、性能の長期維持を図ります。グラフでは雨筋が発生していないことと色味の変化が少ないことが分かります。

耐汚染性の比較



塗膜の明度と日射反射率の関係



COOLレベル 日射反射率※

① ② ③ ④ ⑤	80%以上	① ②	50~60%
① ② ③ ④	70~80%	①	40~50%
① ② ③	60~70%		

※一般屋根用塗料との日射反射率の比較は、「塗膜の明度と日射反射率の関係」のグラフをご参照ください。

塗料性状

荷 姿	15kg、4kg
混合比	—
色	白および各色
つ や	つや有り
仕上り感	平滑
塗料比重	1.24 (白)
溶剤比重	1.00 (上水)
加熱残分	55% (白)
劇物表示 (品名・含有量)	—
労安法上の表示有害物	—
有機則 / 特化則	—
消防法による危険物区分	非危険物
硬化剤の成分による区分	—

※上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

塗装条件

塗装方法	ハケ	ローラー	エアレススプレー
希釈率	5~10%	5~10%	5~10%
標準所要量 (kg/m ² /回)	0.13	0.13	0.16
希釈剤	上 水		

※標準所要量は、個々の条件によって異なります。 ※標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

塗装間隔

項 目	温 度	23℃
標準塗装間隔	最 短	2時間
	最 長	7日
使用時限		—

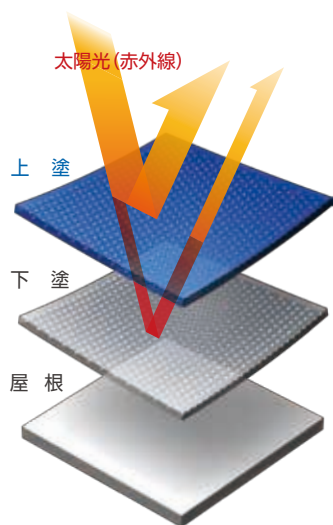
RS ルーフ2液F RS ルーフ2液Si

屋根の遮熱性能に最もこだわった夏の暑さ対策工法。

特 長

1 優れた遮熱効果

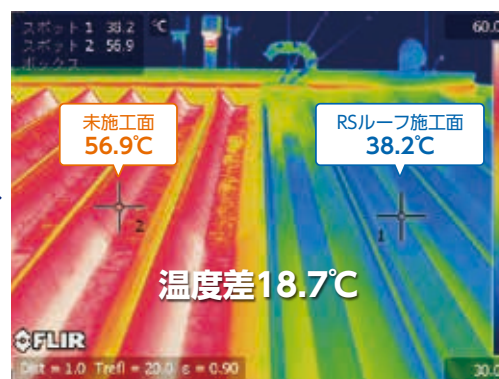
赤外線を効率よく反射する特殊な顔料を配合した塗料を2段階に分けて塗付します。
上塗を透過した一部の赤外線も下塗料でしっかりブロックし、屋根の温度上昇を抑制。
最大-20℃の遮熱効果を発揮します。



関西ペイント小野事業所での試験結果

太陽光を効率よく反射し、熱を遮る

RSルーフ(右半分)と一般の屋根用塗料を塗装した物件



赤外線サーモグラフィ画像

塗料性状

	RS ルーフ2液F	RS ルーフ2液Si
荷 姿	15kgセット (ベース/硬化剤=13.5kg/1.5kg)	15kgセット (ベース/硬化剤=13.5kg/1.5kg)
混合比	ベース/硬化剤=9/1	ベース/硬化剤=9/1
色	標準色	標準色
つ や	つや有り	つや有り
仕上り感	平 滑	平 滑
塗料比重	1.21 (ホワイト)	1.19 (ホワイト)
溶剤比重	0.84	0.82
加熱残分	63% (ホワイト)	63% (ホワイト)
劇物表示(品名・含有量)	—	—
労安法上の表示有害物	ベース:キシレン エチルベンゼン メチルイソブチルケトン	ベース:キシレン エチルベンゼン
有機則/特化則	ベース:特別有機溶剤等 (特化則適用) 硬化剤:第3種有機溶剤等	ベース:特別有機溶剤等 (特化則適用) 硬化剤:第3種有機溶剤等
消防法による危険物区分	ベース:第4類 第2石油類 (非水溶性) 硬化剤:第4類 第2石油類 (非水溶性)	ベース:第4類 第2石油類 (非水溶性) 硬化剤:第4類 第2石油類 (非水溶性)
硬化剤の成分による区分	イソシアネート	イソシアネート

※上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

塗装条件

	RS ルーフ2液F			
塗装方法	金属系素材 ハケ ローラー	金属系素材 エアレス スプレー	窯業系素材 ハケ ローラー	窯業系素材 エアレス スプレー
希釈率	0~10%	0~10%	0~10%	0~10%
標準所要量(kg/m ² /回)	0.12	0.16	0.22	0.28
希釈剤	塗料用シンナーA			

※標準所要量は、個々の条件によって異なります。 ※標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

	RS ルーフ2液Si			
塗装方法	金属系素材 ハケ ローラー	金属系素材 エアレス スプレー	窯業系素材 ハケ ローラー	窯業系素材 エアレス スプレー
希釈率	5~15%	5~15%	5~15%	5~15%
標準所要量(kg/m ² /回)	0.12	0.16	0.22	0.16
希釈剤	塗料用シンナーA			

※標準所要量は、個々の条件によって異なります。 ※標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

塗装間隔

項 目	温 度	RS ルーフ2液F	RS ルーフ2液Si
標準塗装間隔	最 短	23℃ 4時間	23℃ 4時間
	最 長	7日	7日
使用時限		8時間	8時間



<http://www.kansai.co.jp/tsunagaru/>

リフォームサミット参画店